

はつらつ宮っこ

今、輝いている市民



8月に行われた、なぎなたの全日本少年少女武道錬成大会の試合競技男子3・4年生の部で見事、初優勝を飾った後藤さん。「優勝が決まった時は、うれしかったけれど、信じられない気持ちもあった」と笑顔で大会を振り返ります。

なぎなたを始めたのは、幼稚園の年長の時。兄が興味を持っていて、なぎなた教室に家族で体験に行ったことがきっかけでした。当時は、兄に付いていくだけでしたが、小学2年生の時に自分より年下の子が頑張る姿を見て、真剣に競技に取り組みたいと一念発起。練習を重ね、着実に力をつけていき

ました。しかし、昨年の同大会では惜しくも優勝を逃し3位に。悔しさから、練習量を増やして、出稽古にも励むなど努力を続けてきました。また、「得意技は、『持ち替えずね』です。早く打てて、美しいなぎなたを目指します」とさらなる向上心をのぞかせます。

「今後の目標は、いろいろな大会で優勝すること。来年は試合競技と演技競技の両方で優勝したい」と、挑戦を続ける後藤さんの今後の活躍に注目です。

目指すは美しいなぎなた



築瀬小学校 後藤 彩斗さん



ページ番号 1014236

外国人の皆さんに宇都宮のイトコを訪れてもらいました 今回のテーマは「百人一首」

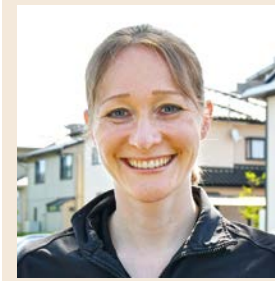
宇都宮にゆかりがある百人一首。今回は、その百人一首を体験するため、宇都宮かるた会へ行ってきました。

練習会場に着くと、子どもから大人まで多くの方が百人一首に取り組んでいます。カードを使う遊びとしてメジャーなトランプとは全く違って、100枚もある札にはそれぞれ上の句と下の句があり、意味も違って、選手はこのすべての札を覚えていると聞いて驚きました。

私も挑戦してみました。上の句だけを聞いてもピンとこなくて、なかなか取れませんでした。また、どこに何の句が置いてあるのか最初にできるだけ覚えるなど、集中力が必要でした。

性別や年齢が違う相手と同じルールで競える競技はなかなかないし、古い歴史がある百人一首が今でも多くの市民の皆さんに親しまれているのは、すごいことだと思います。これからも宇都宮の子どもたちに挑戦し続けてもらいたいですね。

今回のゲスト



ジャネット ロックさん (アメリカ)

オレゴン州出身。19年前から日本に在住。現在は、技術翻訳、教会通訳、英会話教師、国際なわとび連盟の役員などの業務に携わる。納豆、すし、天ぷらなど、日本食は何でも好き。餃子は、焼餃子がカリカリしていて好きです。



1加藤光伸さん(宇都宮かるた会会長)に説明を受けながら、競技かるたに挑戦するジャネットさん。「札を取るために払うのも難しい」と、苦戦します。2現在約130人もの選手が在籍する宇都宮かるた会。かるたを楽しみ切磋琢磨しながら強くなるために、毎週、競技かるたの練習を行っています。

「百人一首」について、11月11日(日)午前10時30分～10時40分とちぎテレビ「教えてイトコUTSUNOMIYA」(再放送)で放送します(48ページ参照)。併せてご視聴ください。

◎北宇都宮駐屯地(宇都宮飛行場) ■夜間飛行訓練日。時刻は午後9時ごろまでを予定しています。なお、あります▽内容 ヘリコプターの飛行訓練。■その他コン飛行機などを飛行させることは、航空法により禁止されています。☎陸上自衛隊北宇都宮駐屯地(658)2151

▽期日 11月1・5～8・12～15・19～22・26～29天候などにより実施日・時刻を変更することがあります▽内容 飛行場周辺(宇都宮市内)でのドローン、ラジ

本文中に記載がないものは、原則として、対象外となります。費用は無料、申込不要(定員の記載があり申込の記載がないものも、当日、直接会場へ)。HPホームページ、Eメールアドレス、地区市民センター、出張所、生涯学習センター、参りつつのみや表参道スウェーデン、地域コミュニティセンター、活市民活動センター、申込時に記載する基本項目は、催し名・郵便番号・住所・氏名・ふりがな・電話番号・人数。